

経営事項審査の虚偽申請防止対策の強化

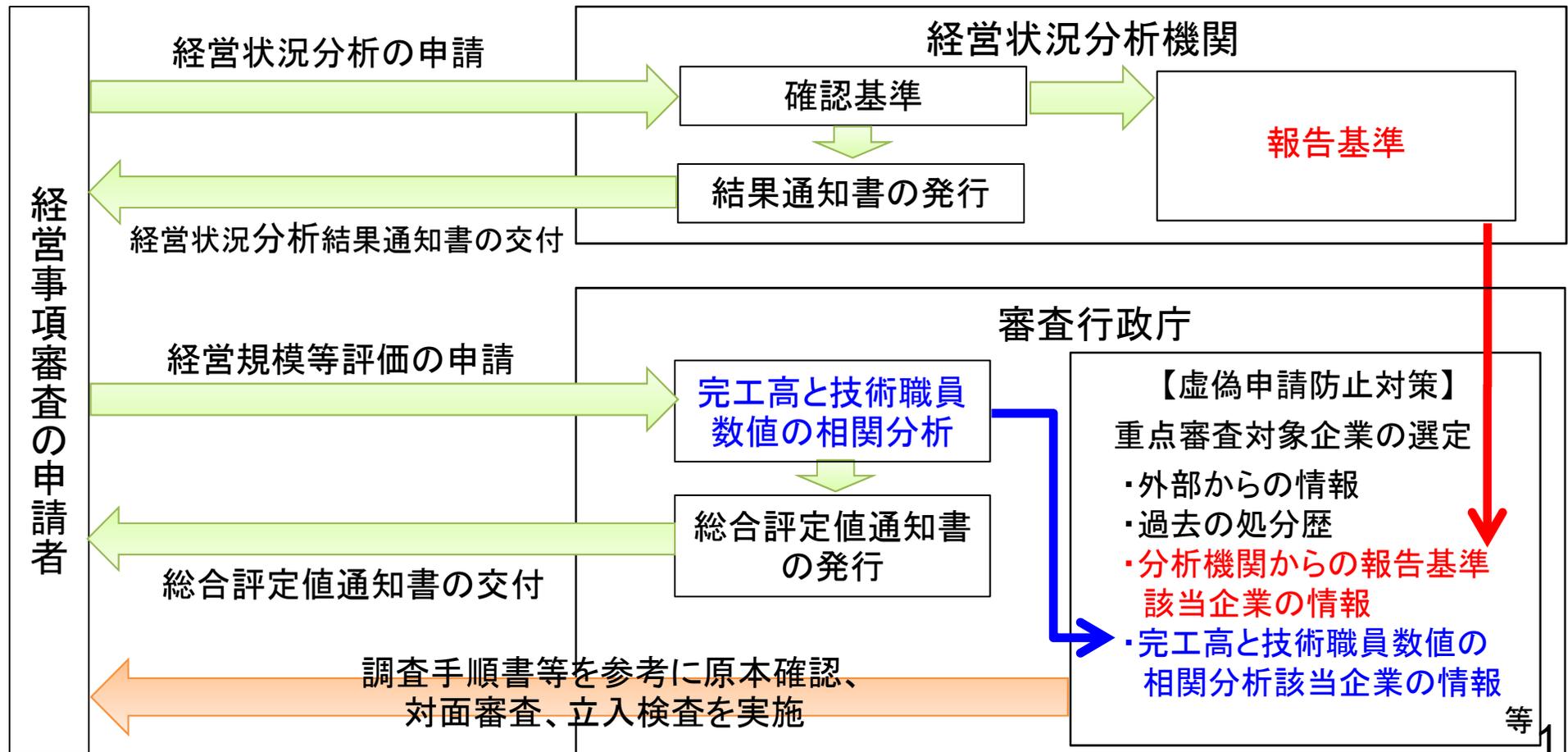
平成22年10月

新たな虚偽申請防止対策の流れ

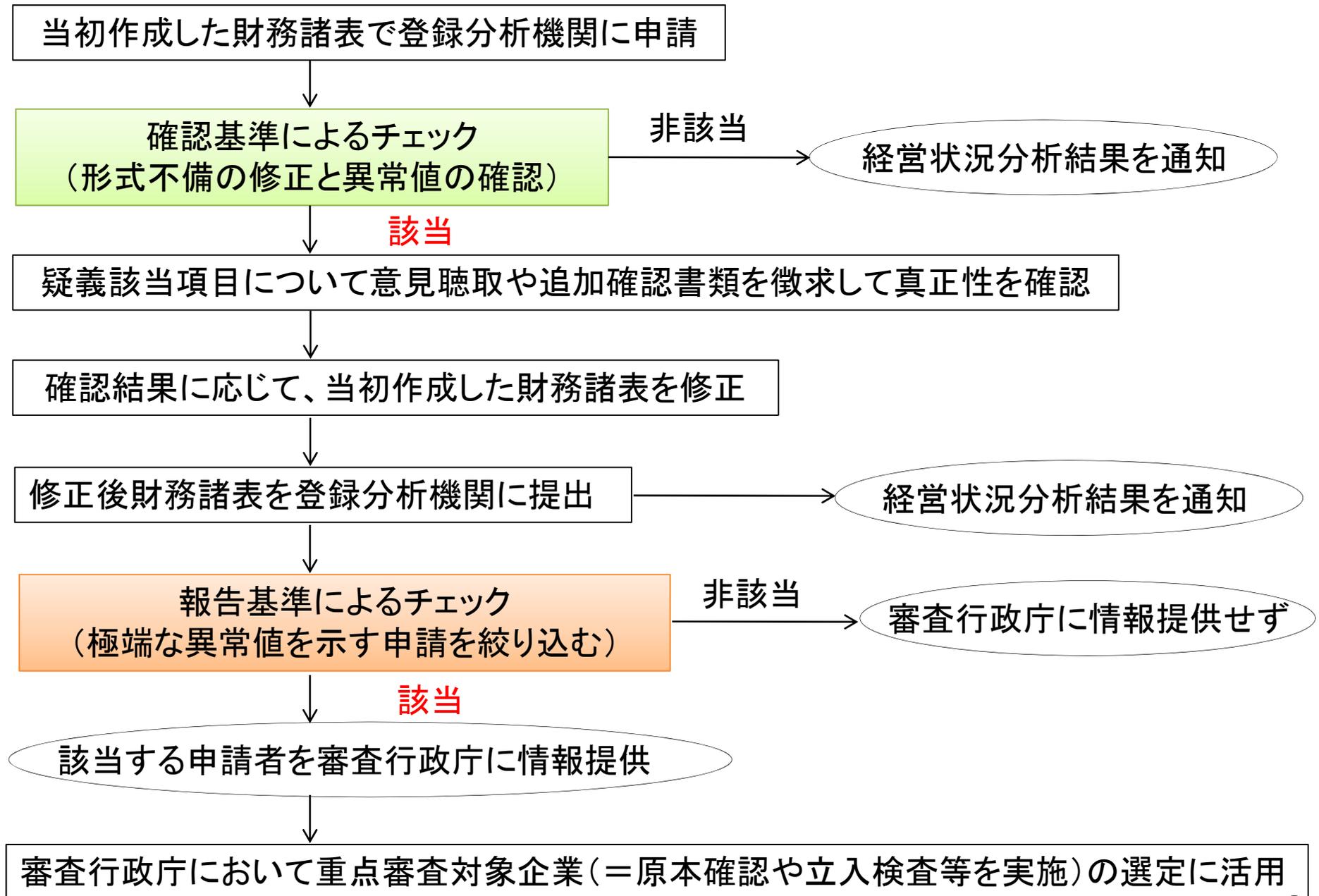
1. 経営状況分析機関が行う異常値確認のための基準を見直すとともに、一定の基準に該当する申請については直接審査行政庁に情報提供する仕組みを創設
2. 審査行政庁が行う完工高と技術者数値の異常値検出の相関分析を見直し・強化
3. 審査行政庁と経営状況分析機関の連携を強化し、虚偽申請の疑いのある業者に対しては重点審査(証拠書類の追加徴収・原本確認、対面審査、立入等)を実施

→平成23年1月1日以降の申請に係るものから上記の取組を実施

【虚偽申請防止対策の強化の概要】



新たな疑義項目チェックの流れ



新たな完成工事高と技術職員数値の相関分析

相関分析のイメージ

